

療育プログラム

「学童ねあらい」

法人訓～喜ぶ人と共に喜び 泣く人と共に泣きなさい～

落ち着きがない、あそべない等の気になる行動や小学校での生活に何らかの課題があり心配だという児童の療育をするところです。また、放課後の過ごし方を通じて、家庭での生活しやすさや楽しさを、家庭とともに創っていくところです。

□開所時間 平日 15時～17時 夏季9時30分～15時

＜健康・生活＞

活動の準備や片づけを自分で行い、活動後は部屋の掃除を行います。外で思い切りあそんだ後は、手洗い・うがいをしっかりと行い健康管理に留意します。身の回りのことは自分でできる、自立する力を育てます。

＜認知・行動＞

一人ひとりの個性や特性にあわせ、学習や活動の環境を配慮します。宿題に取り組む児童は集中して取り組める環境を整えています。また、季節の変化を感じられる行事の実施や制作、水あそびやたき火等の活動を行い、五感が心地よく震えるような活動を行っています。

＜言語・コミュニケーション＞

ことばだけではなく、絵カード・虫食いカード、ジェスチャーや写真等をおりまぜ、手順等を示した活動内容の提示を行っています。順番や交代など自分も周りの人も大切にするコミュニケーションに留意し活動しています。

地域支援・地域連携

学校や医療機関、相談支援事業所等との情報共有、連携をはかり支援方法や環境調整に関する支援をすすめます。

＜運動・感覚＞

広いグラウンドでドッジボールやサッカー、リレー等の全身を使った運動やあそびに取り組みます。感覚統合遊具を備えた部屋ではバランス感覚、体の動きをコントロールする経験をし、OTの助言や提言も取り入れ心身の育ちを促しています。リトミックや音楽あそびも児童の「やりたいこと」をベースに、みんなで話し合い活動しています。

＜人間関係・社会性＞

児童の「今日はやりたくない」「初めてだからドキドキする」「少しの間、見ている」等の不安な気持ちを受けとめます。

物事への取組み・人とのやり取りにおいて折り合いをつけられる等のソーシャルスキルに留意し「楽しかった」「やってよかった」「もう一回やりたい」等と思えるような、心地よい体験を積み重ねることを大切にしています。

家族支援

月に一度、保護者のお話会を実施しています。テーマは定めますが、ざっくばらんに和気あいあいとした時間となっています。また、ご家族からの相談事も対応させていただきます。

移行支援

進学、転校・他事業所等への移行が生じた場合は適切に引継ぎを行います。放課後児童クラブ併用の方は適時連携を図ります。

*学童ねあらいは児童が安心して、その子らしく過ごせる居場所となるように環境を整えます。また、諸活動で達成感や充実感を得られる配慮をし、児童にとって居心地の良い場所となるような支援を心がけています。